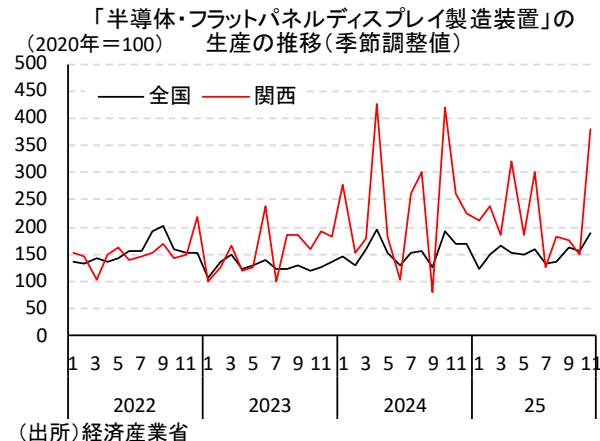
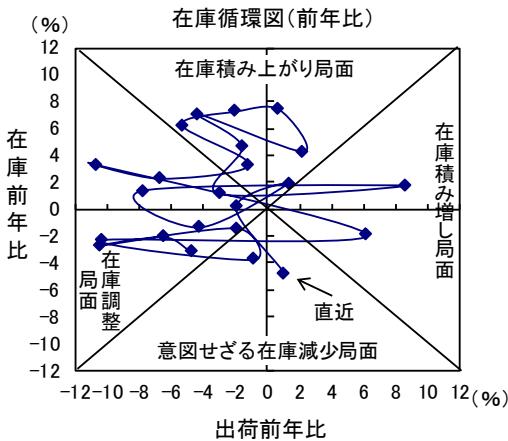
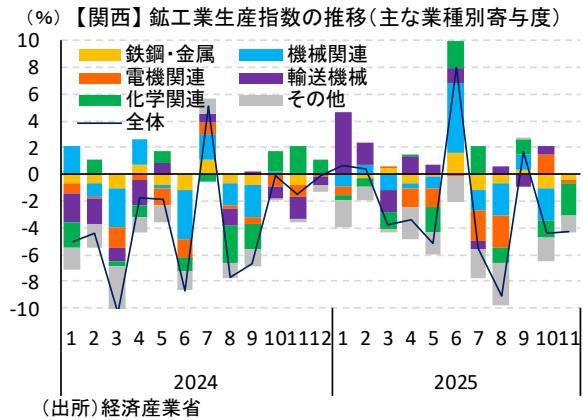
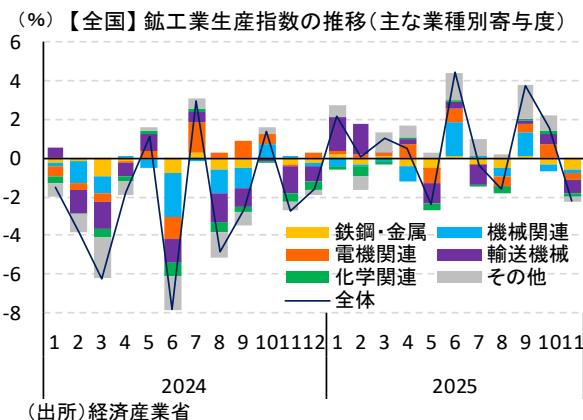


関西の景気トピックス【鉱工業指数（25年11月）】

- 25年11月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）によると、生産（原数値）は前年比で4.3%減と、2か月連続の減少となった。業種別には半導体製造装置や建設用機械など、一部で増加の動きもみられたものの、医薬品を中心とした化学関連などが大きく減少し、全体を押し下げる形となった。
- 在庫循環の状況をみると、前月の「積み上がった在庫を調整するため、出荷を減らす」在庫調整局面から、「需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する」意図せざる在庫減少局面に転じている。これが継続的な動きか否か、来月の動向が注目される。
- 直近の関西の生産動向で注目されるのは、半導体製造装置の増加であろう。米国等による規制に翻弄されやすい品目であるが、直近は中国向けの輸出も増加傾向が続いており、今後の推移が注目される。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。